



社協だより

書 石川竹次 氏

介護職員初任者研修開講式

(両神・高齢者生活福祉センターにて)



5月10日に介護職員初任者研修の開講式が行われました。今後ますます需要が高まる介護職の資格を取得する研修です。介護職に必要な知識・技能の取得に、講義や演習、施設実習の計130時間の研修を行います。

目次

- 平成28年度事業計画と予算 P2~4
- 熊本地震災害義援金報告・会長コラム . . . P5
- 通所サービス・ふれあい作業所 P6~7
- いきいきサロンの紹介 P8~9
- ボランティア体験プログラム P10~11
- 各種事業のお知らせ P12

編集・発行

社会福祉法人
小鹿野町社会福祉協議会
 〒368-0105
 小鹿野町小鹿野300番地(児童館内)
 電話 75-4181
 FAX 75-4561



● 社協だよりは、赤い羽根共同募金の分配を受けて発行しています。 ●

平成28年度 会計予算

平成28年度の予算額は次のとおりです。(単位：千円)

一般会計予算	
地域福祉事業	48,682
法人運営事業	33,482
心配ごと相談所事業	391
福祉資金事業	1,461
福祉基金事業	501
共同募金配分金事業	2,346
移送サービス事業	3,281
介護職員初任者研修事業	1,001
福祉サービス利用援助事業	132
介護予防ケアマネジメント事業	6,087
地域活動支援センター	19,449
ふれあい作業所運営事業	19,449
小鹿野デイサービスセンター	49,678
小鹿野デイサービスセンター通所介護事業	49,678
両神デイサービスセンター	47,598
両神デイサービスセンター通所介護事業	41,173
両神デイサービスセンター A 型通所介護事業	6,425
倉尾デイサービスセンター	45,300
倉尾デイサービスセンター通所介護事業	45,300
合計	210,707

その他会計予算	
共同募金会小鹿野町支会予算	2,816
本部会計	64
寄附金会計	2,750
災害たすけあい義援金会計	2
日本赤十字社小鹿野町分区予算	1,693
合計	4,509



平成28年度 事業計画と予算

小鹿野町社会福祉協議会の理事会・評議員会が3月25日に開催し、平成28年度事業計画・一般会計予算の審議を行い、全て原案のとおり決定いたしましたことを下記のとおりご報告します。なお、新たに「基本理念」、「基本方針」を設け、重点目標の見直しを行いました。

基本理念

本会は、住民主体の地域福祉の推進を重視し、『誰もが住み慣れた家庭や地域社会の中で、共に支え合い、尊厳をもって、その人らしく、安心して生活が送れる町づくり』に貢献します。



基本方針

本会は、基本理念の実現を目指し、下記の基本方針を掲げます。

- 1 人々の尊厳と自己決定を尊重し、心豊かに地域社会で生活が継続できるよう住民参加と地域の連携・協働により業務を推進します。
- 2 常に住民の立場に立ち、社会環境の変化に対応する事業の開発と充実に努めます。
- 3 福祉課題を地域全体の課題として捉え、提言活動や計画づくりの取り組みに積極的に関わり、地域福祉の基盤づくりの役割を担います。
- 4 人を思いやる優しい心、高い専門性、強い責任感を持ち、常に自己研鑽を重ねます。
- 5 法令を遵守し、信頼され開かれた社会福祉協議会づくりをすすめます。

重点目標

- (1) 地域における総合相談・生活支援体制の確立と充実
- (2) 社会福祉協議会の組織体制並びに経営管理の強化
- (3) 福祉団体の活動の推進
- (4) 介護サービスの質の確保・充実、専門性の向上
- (5) 福祉人材の育成、福祉教育の推進



平成28年 熊本地震災害義援金実績

(平成28年5月2日現在)

「平成28年熊本地震」で被災された熊本県・大分県の方々に支援することを目的に、義援金の募集をお願いしております。皆様の温かいお気持ちをお寄せいただき、本当にありがとうございます。社協では6月30日まで引き続き募金活動を継続しておりますので、ご協力をお願いします。

(順不同、単位：円)

小鹿野まつり音頭愛好会 様	20,000	新井 博規 様	3,000	柴崎もも花 様	1,000
小鹿野町議会有志一同 様	130,000	井上 佳夫 様	10,000	強矢 善一 様	10,000
小鹿野町役場職員一同 様	135,118	黒沢武幸・秀子 様	20,000	中村 寿裕 様	10,000
虹の会 様	10,000	黒田三代子 様	5,000	南 幸一郎 様	3,000
ヘルパーコスモスの会 様	16,000	近藤 壽行 様	10,000	匿名希望 様	30,000
南森林スマイル企画従業員一同 様	30,000	柴崎 大輔 様	5,000	匿名希望 様	50,000
両神興業株川塩事業所 様	5,000	柴崎 悠希 様	5,000	募金箱 (5か所)	93,616
梁山泊はなのやグループ 様	100,000	柴崎 利子 様	5,000	梁山泊 募金箱	8,551
社会福祉協議会職員一同	7,807	柴崎 陽大 様	1,000	合計	724,092

各行政区につきましては次号にてご報告させていただきます。

会長コラム

4月14日の熊本県益城町で最大震度7を観測した地震以降、熊本地方の周辺各地で連続して大規模な揺れを含んだ地震が続き、尊い人命が失われ、大勢の方々が大変な避難生活を余儀なくされています。亡くなられた方々へ哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

当会では、義援金のご協力をお願い申し上げたところ、多くの町民の方々よりご協力をいただいております。お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社本部を通じて、被災地域支援へ活用されます。皆様の温かい善意に深く感謝申し上げます。今後も現地の方々の苦しみや悲しみを心にとどめ、できる限りの支援をしてみたいと思います。

さて、当会におきましては、先日開催した理事会・評議委員会の承認を受け、平成二十八年度事業がスタートしました。今年度の新規事業として介護予防に重点を置いた通所サービスが、両神・高齢者生活福祉センターで4月から開始しました。利用者の皆様には大変喜んでいただいていると報告を受け、まずはほつとしております。行政や関係機関等と連携し、社協の総合力とネットワークを活かして生活支援を推進してまいりますので、今後とも皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

梅雨があけると夏に向かいますが、まだまだ寒暖の差がある時期です。皆様どうぞご自愛いただきお過ごしください。

小鹿野町社会福祉協議会長 福島 弘文

主な事業内容

母子、父子福祉事業

母子、父子家庭施設利用料助成

高齢者福祉事業

- ◆老人クラブ連合会活動費助成
- ◆老人クラブ活動支援
- ◆敬老会協力、高齢者趣味の作品展
- ◆単身高齢者事業の実施 (配食サービス・夏期慰問)
- ◆いきいきサロン事業 (町委託事業)

障がい福祉事業

身体障害者福祉会活動費補助

児童福祉事業

- ◆青少年健全育成
- ◆各種子供スポーツ大会への助成

戦没者遺族福祉事業

- ◆遺族会活動費補助
- ◆忠魂碑等管理

福祉教育事業

- ◆町内学校へ福祉教育活動費助成
- ◆介護職員初任者研修事業 (隔年)
- ◆福祉教材の貸し出し

共同募金事業

- ◆赤い羽根共同募金配分事業
- ◆歳末たすけあい慰問事業

ボランティア活動事業

- ◆ボランティア活動の支援
- ◆ボランティア体験プログラム
- ◆ボランティア団体活動費の補助
- ◆災害ボランティアセンター設置訓練 (秩父ブロック)



生活相談事業

- ◆心配ごと相談所開設
- ◆生活困窮者自立支援
- ◆給付事業 (災害見舞金の給付)
- ◆成年後見人制度利用相談

資金貸付事業

- ◆生活福祉資金の相談・申請
- ◆福祉資金貸付事業

在宅サービス事業

- ◆通所介護サービス事業 (3施設)
- ◆福祉有償運送事業 (ハッピー・パートナー)
- ◆地域活動支援センター 「おがのふれあい作業所」事業 (町委託事業)
- ◆声の広報「おがの」作成
- ◆日常生活自立支援事業 (あんしんサポートネット)
- ◆支え合いボランティア事業

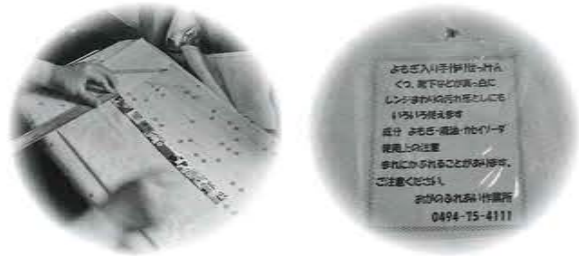
人に優しく、地域の絆を大切にし、社協の総合力とつながりを活かした活動を進めます！



地域活動支援センター

おがのふれあい作業所

精神の障がいを持ちながら、家族以外の人との交流や創意・生産活動を通して、自分の意思で、自立した生活が送れるよう仲間たちと活動しています。



開所曜日	開所時間
月・火・水・木曜日	午前9時から午後3時

定休日：毎週 金・土・日曜日、祝祭日

■運営主体

実施主体……小鹿野町
事業委託先…小鹿野町社会福祉協議会

■活動内容

- ◎軽作業（ボールペンの組み立て等）
- ◎お弁当の調理や売店での販売
- ◎保健福祉センター等の公共施設の掃除
- ◎アルミ缶回収
- ◎小物づくり など

職場の隣なのでいつも来ます。
手作りでどれも美味しいですよ。



施設長と5名の指導員さんが作業所のメンバーさんと一緒に様々な作業を行っています。よもぎの会のボランティアさんも以前から関わりがあり、メンバーさんとも顔なじみ。

スタッフの皆さん、よもぎの会の皆さん。
いつも、ありがとうございます！



■ご利用にあたって

窓口は保健課となっております。下記までご相談ください。
保健課 ☎75-0135（月～金曜日、8:30～17:15）保健福祉センター内

はじまりました 介護予防通所型サービス

平成28年4月1日から介護予防と日常生活の自立を支援することを目的として、
両神高齢者生活福祉センターで通所型サービスを新たに開始しました！
その様子をご紹介します。

ボールなどを使って、楽しく介護予防



お一人お一人の「できるようになりたい」を大切にしています
ご利用者の皆さんの、日々の生活の中で「こんなことができるようになりたい」、「今できていることを続けたい。」という思いを取り入れて介護予防に取り組んでいます。

スタッフより
少人数なので皆さん和気あいあいと楽しく過ごしていただいています。



保健課 健康運動指導士の
上野さんより
毎週金曜日に伺って、一緒に体操しています！皆さんの健康づくりを応援します。どうぞよろしくをお願いします。



いろいろあります

サロンの効果

情報の交換、提供、共有

- 身近なお得情報を交換し合える。
- 専門家の力を借りて情報をキャッチ。
- 参加者同士の情報を共有し合える。

活動範囲の広がり

- 出かけるきっかけづくり。
- 日常の生活に張り合いが出る。

介護予防、認知症予防

- 介護予防情報を入手できる。
- 仲間がいるから、楽しみながら継続して予防できる。

健康づくり

- 話すことで気分転換。
- 体を動かすことは、心と体の健康に。

つながりづくり

- ご近所の顔見知りや友達が増える。
- 悩みを共有できる仲間に出会う。
- 深刻な悩みになる前に、専門家につながる事ができる。

見守りや支え合い

- 仲間の変化に早く気づく。
- 支え合いのきっかけづくり。

近隣とのつながりづくり

- 安心してその地域で暮らすことができる。
- 地域としての一体感が強まる。

応援します！お手伝いします♪ みなさんの『手作りサロン』

社協では、手作りサロン（自主サロン）づくりを、お手伝いしています。どうぞお気軽にご相談ください。

- ✳ 定期的（毎週～月1回など）に集まって、お茶のみしたい。
- ✳ 体操したいけど、1人だと続かなそう…。3～4人からでも一緒に集まれないか？
- ✳ ちょっと料理を作ったりしてみんなで楽しく食べたい などなど

私たちの身近なところで、自分たちのペースで もっと気軽にできないかしら？



おしらせ

赤ちゃんやお子さんと一緒に集まれるサロンや、同じ障がいや病気を持つ方々の交流の場を始めてみたい方、さまざまな世代のサロン作りの応援も始めました。一緒に楽しみながらサロンづくりを始めてみませんか♪

いきいきサロンのご紹介

町委託事業

いきいきサロンとは？



地区の集会所等を会場にお借りして、地域の高齢者の皆さんの健康づくりと交流を図りながら、和気あいあいと過ごしていただく集まりです。開催にあたっては、各区の区長さん、民生委員さん、健康サポーターの皆さん、保健課の皆さんにご協力いただいております。

H27年度の実績

- 実施行政区：63地区
- 回数（述べ）：114回
- 参加者数（述べ）：1551人

いきいきサロンの内容を一部ですがご紹介します♪



町立病院の出前講座と同時開催



ドンパン節で脳活性化体操



うちわと風船を使った風船バレー

居心地良い

地域で生活する人が主役です。地域の皆さんが居心地良く、和気あいあいと過ごせる場です。

気軽に！

地域に暮らす人たちが出会い、交流し、仲間作りができ、気軽に立ち寄れる場です。

自由に！

サロンに「こうでないといけない」という決まりはありません。

楽しく！

楽しく参加していただくことをまず第一に。笑顔は健康づくりにも大切です。

サロンの特徴

様々な開催の形

参加者を限定せず地域の人が集まることができます。



番号	メニュー名	活動内容	活動場所
9	小鹿野学童クラブボランティア	児童の保育補助	小鹿野学童クラブ (小鹿野 2790-1)
10	小鹿野学童クラブ遊ボランティア	児童の保育補助	小鹿野学童クラブ遊 (小鹿野 2662-1)
11	両神学童保育室ボランティア	掃除、おやつを用意・片付け、子供たちの遊び相手・見守り	両神学童保育室 (両神薄 2762)
12	子育て支援センターボランティア	母子の遊び相手、行事準備、掃除等	みどりの村、 子育て支援センター等
13	災害時の炊き出し訓練	災害時に備え、非常用保存食「アルファ米」や特殊耐熱袋「ハイゼックス」を使用した炊き出し訓練	般若の丘「いきいき館」 (般若 361)
14	クリーンアップ大作戦	商店街やバイパス沿いのゴミ拾い	小鹿野町社会福祉協議会 (小鹿野 300)
15	まごころメールボランティア	町内の単身高齢者の方に残暑見舞いの絵手紙を書きます。まごころを込めた絵手紙を贈りましょう。	小鹿野町社会福祉協議会 (小鹿野 300)
16	七夕フェスティバル出店ボランティア	町内で活動しているボランティアグループと一緒に七夕フェスティバルに出店し、地域の人たちと触れ合いながら販売活動、募金活動等を行います。	小鹿野町社会福祉協議会 (小鹿野 300)
17	クッキングボランティア	簡単でおいしいお菓子の作り方を教えてもらい、作ったお菓子をデイサービスセンターの利用者さんに届けに行きましょう。	両神ふるさと総合会館 (両神薄 2713-1)



- 詳しい日程、時間等に関しましては、7月1日配布の「広報おがの」と一緒に回覧の予定です。
- 町内の中学・高校に在学中の生徒を優先的に事前受付しているため、定員に達している場合がございますのでご了承ください。

詳しくは小鹿野町社会福祉協議会 75-4181 までお問い合わせください。

夏のボランティア 体験プログラム ご案内

楽しい夏休みの一日、ボランティアを通じて普段では味わえない感動や達成感を体験してみませんか？
興味や関心があっても、一歩が踏み出せなかったあなた!! 学生の方だけでなく、どなたでも体験できます。
社会福祉協議会では、今年もたくさんのメニューをご用意して、一人でも多くの方々の参加をお待ちしております。

番号	メニュー名	活動内容	活動場所
1	特別養護老人ホーム小鹿野苑での介助体験	車いすの移動介助、入所者の話し相手、その他職員がお願いする軽介護等	特別養護老人ホーム小鹿野苑 (下小鹿野 2551)
2	特別養護老人ホーム花菖蒲・両神での介助体験	生活環境の整備手伝い(車いす、窓ガラス、ベランダ等の清掃)、レクリエーションの活動の手伝い、介護業務の補助	特別養護老人ホーム花菖蒲・両神 (両神薄 1060-1)
3	小鹿野デイサービスセンターでの介助体験	利用者の話し相手、お茶入れ、昼食配膳、移動介助	小鹿野デイサービスセンター (下小鹿野 2551)
4	両神デイサービスセンターでの介助体験	利用者さんの話し相手など	両神デイサービスセンター (両神薄 2395)
5	花菖蒲・両神デイサービスセンターでの介助体験	生活環境の整備手伝い、レクリエーション活動の手伝い、送迎の手伝い(利用人数による)	花菖蒲・両神デイサービスセンター (両神薄 1060-1)
6	小鹿野幼稚園ボランティア	行事の準備(運搬、制作など)	小鹿野幼稚園 (小鹿野 2743)
7	小鹿野保育所ボランティア	プール準備・片づけ・清掃、玩具・砂場消毒、行事に向けての準備	小鹿野保育所 (小鹿野 2744)
8	両神保育所ボランティア	除草・所庭清掃、保育の介助、玩具消毒、プール掃除	両神保育所 (両神薄 2901-1)

社協会員募集強化月間 会員加入のお願い

社協では、地域福祉を積極的に推進するため、7月1日から31日までを会員募集強化期間として会員加入へのお願いをしております。皆様に参加と協力で『福祉の町づくり』をすすめて参りますので、社協の活動と趣旨をご理解の上、多くの方々に会員にご加入いただき、運営にご協力くださいますようお願い申し上げます。

また、特別会員に加入していただいている法人様につきましては、別途「ご依頼文書」を送付いたします。ご協力いただきますようお願いいたします。

会費の種類及び年会費

● 一般会員（一般世帯を対象）
年額 500円

● 賛助会員

（趣旨に賛同いただいた個人を対象）

1口 年額 1,000円

● 特別会員（企業、団体を対象）

1口 年額 5,000円

心配ごと相談所

ひとりで悩まないで、気軽にご相談ください。秘密は守られます。

◎相談日時

毎週木曜日 10時～15時

◎相談場所

社会福祉協議会 相談室

（第3木曜日は両神振興会館）

※事前予約は必要ありません

あたたかい心を
ありがとうございます

地域福祉に役立てて欲しいと寄付をいただきました。

一般社団法人

秩父法人会青年部会様 より

51,000円

匿名希望様 より 紙おむつ等
匿名希望様 より 紙おむつ等



秩父法人会青年部会様

小鹿野高校ボランティア部

ペットボトルの キャップ回収

社協玄関設置 BOX 回収結果

2月	22,102個
3月	19,565個
H27年度 合計	265,912個

いつもありがとうございます

回収ボックスが
新しくなりました。



鹿高ボランティア部はキャップ回収を通じて地域との連携を広げ、深めたいと一生懸命活動しています。どうぞこれからも私達の活動にご協力をお願いします。

成人用紙おむつ さしあげます

- ★リハビリパンツ L～LL サイズ
- ★テープ止めタイプ Mサイズ

※数に限りがあります。

使わなくなった未使用の紙おむつを寄附いただける方がいらっしゃいましたらご連絡ください。ご自宅まで受け取りに伺います。

編集後記

先日、日赤奉仕団の研修旅行に随行させていただき、「そなエリア東京」を見学しました。ここは首都圏の災害時には対策本部として機能する場所となっています。災害時には、輸送・移動が困難となることを想定して空から海から陸からと資材物資等受け入れやすくなっており、災害時医療支援用地としても整備されています。

施設の中では、疑似体験ができ、エレベーターに乗っているとときに地震が発生したという想定で始まりま。自分が被災者となり、避難場所まで移動するなかで、町の中の危険な場所を予想して移動することや、声をかけあう大切さ、町にはいろいろな情報があるということなど学びました。

いざというときに、自分がどう行動できるのかとても不安です。ぜひ皆さんも、一度そなエリア東京での疑似体験をしていただき、家族で災害時の連絡方法や、避難場所の確認などをしてはいかがでしょうか。

(西村)

